

としょかん
図書館だより



あけまして、おめでとうございます。新たな一年が始まりましたね。みなさんは、「一年の計は元旦にあり」ということわざを聞いたことがますか？「ものごとは、はじめにきちんと計画を立てることが大切だ。」という意味で、もとは「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」という言葉だったのだそうです。いい計画や目標を立てられると、一年も充実したものにできそうですね。私の目標は、一日に本を二冊読んで、みなさんにいい本を紹介することです。司書ですが本を読むのが遅いので、がんばりたいなと思っています！今年も、たくさん図書館に来てくださいね。

としょいいんかい しんきかく
図書館委員会の新企画



図書館委員会では、1月から新たな企画を始めました。みなさんの参加を、お待ちしております！



「ぼくの・わたしのおすすめ本」カード

おすすめの本の紹介をカードに書いてくれた方に、しおりをプレゼントします！カードは、図書館外の壁に貼ります。

※しおりがなくなったら、終了です。



「ポップのついたシリーズ本」の感想

図書館には、図書委員さんが作ったポップのついたシリーズ本があります。その本の感想を書いてくれた方に、しおりをプレゼントします！感想は、図書館内のコーナーに貼ります。

※しおりがなくなったら、終了です。

3

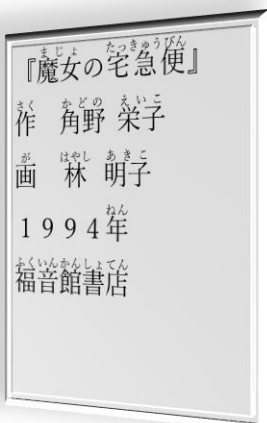
「図書委員のおすすめの本」コーナー

図書館の中に「図書委員のおすすめの本」のコーナーを作りました。1週間ごとに担当者が変わりますので、本も入れ替わります。ぜひ見に来てください。

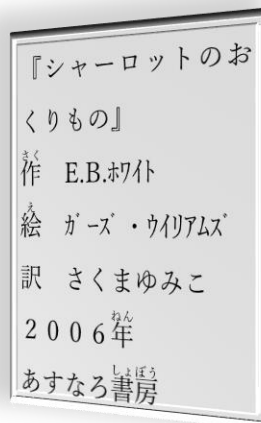
今月の展示

今月は、カウンターの前に、「映画になった本」を展示しています。

映画だけ観た、という人も多いのではないのでしょうか。原作の本を読むと、より深く理解できますよ。読んだら、おうちの方やお友達に教えてあげると、びっくりされるかもしれません。



『魔女の宅急便』
 ジブリの大ヒット映画の原作です。ひとり立ちした魔女の子キキの、1年間のがんばる姿が描かれています。映画にはないエピソードもあり、もっとキキが好きになります。



『シャーロットのおくりもの』
 この本は、1952年に初めて出版されてから70年経ちますが、今でも世界中の子どもたちに読まれています。楽しくて、最後はジーンとするお話です。



『蜜蜂と遠雷』

母の死以来ピアノが弾けなくなったかつての天才少女と、自宅にピアノのない少年を中心に、音楽に向き合う人たちの奮闘が描かれています。



『かがみの孤城』

主人公は、学校で居場所をなくして家に閉じこもる、中学生になったばかりの女の子です。同じような悩みを抱えた仲間と出会い、少しずつ気持ちが変化していきます。ちりばめられたヒントを読み解くミステリーの要素もあり、夢中になってしまいます。

★おねがい★

冬休みに借りた本をまだ返していない人は、急いで返却してください。

